

●学校跡地の活用は

問 企業誘致計画は

答 計画的には取り組めてない



佐藤 博 議員

議員 企業誘致の計画があれば伺いたい。

農林商工課長 工業団地等が整備されていないので、計画的な企業誘致に取り組めていないのが実情。

議員 工場団地等の計画は。

農林商工課長 今現在はありません。

議員 就任以来の活動状況等があれば伺いたい。

町長 問い合わせを受けましたが進まなかった背景

という意見をいただいている。西牧小学校、西中学校については、具体的な活用計画はまだ未策定である。

議員 学校跡地は、地域の中心の一番いい場所にある。統合を決めて10年、跡地の活用協議をしてもいいはず、非常に残念に思っている。学校跡地の活用を論議してほしい。

問 設立総会の会場費は

答 ふるさとスマホ(株)です

は、社会情勢や地理的な問題、工業用の水問題があると思われる。受身的な態勢の誘致活動状況が続いており、積極的な企業誘致に取り組めていないのが実情である。

議員 学校の跡地を活用しての企業誘致は考えにあるか。

町長 馬山小学校跡地は、地元の協議会の意見として、地域のコミュニケーション施設、災害避難場所として欲し

をいただいている。

議員 設立総会の経費負担はどこがされたのか。

健康課長 事務経費については、南砺市の事務局で対応しているという回答でした。

議員 総会の会場、砂防会館の会場費は誰が払ったか。

健康課長 総会の会場使用料は、連絡協議会の顧問として加入をしている。ふるさとスマホ(株)で支払いをされたという回答でした。

議員 ふるさとスマホの設立は昨年の7月28日、年内に自治体スマホ連絡協議会を発足させるとネットで公開していた。

自治体スマホ連絡協議会の顧問は、ふるさとスマホ(株)で、スマホを運営する業者と自治体スマホの一体感を感じる。業者主導の協議会、業者がスポンサー、協議会と業者が一体である。

予算決算特別委員会

▼主な質疑

◆平成28年度下仁田町一般会計補正予算(第1号)

利用できるが、申請後に県の審査を受けていただき、少額であったり、内容が合致しない場合には受付段階で排除される。

【歳入】
問 一般寄付金の内容は。

答 群馬県町村会から少子化対策目的の寄付金2000万円です。

問 コミュニティ助成事業は、どのような事業が対象となるのか。

答 魅力あるコミュニティ助成事業は、自治会、町内会が施設の設備、施設整備に助成をするもので、最近

は、催事、伝統芸能の備品に対して使われている。一般コミュニティの10万円単位で助成が受けられる。

対象となっていて、集会施設の整備に使えるようになってきている。いずれも宝くじ助成事業である。

町 町の文化財に認定さ

魅力あるコミュニティ助成事業は、1000万円から250万円まで

両助成事業ともに助成金が町を経由して地区に支払われる。区長会と広報でお知らせをしている。受付窓口は地域創生課。

町長 町の文化財に認定さ

町長 町の文化財に認定さ